

# 早蕨

株式会社 さわらび

さわらびニュース 2013年  
8月1日発行号



本社 千葉県鴨川市金東781  
TEL.04-7098-1181 (代表)  
FAX.04-7098-0517  
http://www.sawarabi.com  
Eメールinfo@sawarabi.com

vol.17

編集 編集長 藤井 浩一  
編集委員 野村 祥生 荒井 祐司



## さわらびを支えて頂いた方々 <第9話>

### 「さわらびの力」

株式会社 千辰地所  
代表取締役 白幡 進 様

建設業しか知らない私にさわらびの社長を紹介してくださったのは、館山カントリークラブの相談役(当時総支配人)の内田勝昭さんです。マル子社長は、企業のトップとは思えない様な「やさしさと懐の深さを兼ね備えた人」が第一印象です。十数年経た今でもそれは変わりません。その頃の話ですが、ゴルフを覚えてた私の妻に、山田プロを交えて長期に渡り面倒みていただきました。本当に有難く思っています。

そして、上條専務とも知り合う事もできました。専務の入社10周年イベントに夫婦でお招きいただいた時の事です(専務のお母様も御健在でした)。会はサプライズの連続で、もてなしの心が溢れ、今迄経験したことのない感動を覚えて帰宅した事が思い出されます。

私見ですが、企業のトップとしての資質の1つに「従業員に感謝できるか」があると思っています。マル子社長は第一印象に感じたままに、社員に対しての感謝が細やかな気配りとなって実践され、社員の皆さんもやりがい・自信となって現われていると思います。

専務とお付き合いさせていただいたのは、館山市那古にある「とれたて市場・健人館」の立ち上げの時でした。地域活性化のためという意気込みだけの7人で始めた素人集団の中で唯一、専門の知識を持ち、商品選び、陳列の仕方、POSレジの手配など企画の全てをこなし、「これぞプロ」と感心させられました。

あれから12年目に入り、お陰様で年10万人、1日300人の方がレジを通る直売所になる事が出来ました。

専務の話でもう一つ。今年5月、鹿野山ゴルフ倶楽部での「第15回さわらび杯ゴルフコンペ」300名を超えるコンペに参加させていただいて、素朴な疑問がありました。「この様な大規模なコンペ、大変な苦勞してまで開催？」その疑問が解けたのは、プレー後のパーティーが進んでからでした。スタッフの歯切りのいい進行、商品渡しの手際の良さや気配りを見てピンとききました。「これはさわらびの社員教育なんだ!実践を通して教育しているんだ」と。これだけのイベントをこなす力があれば日頃の店舗イベントなんて容易だろうなと思えました。後日、上條専務にこの話をしてみた所、「その通り社員教育の一環なんだけど、あのパーティー私にはまだまだ不満で、あの後も反省会でした」と言われ、思わず「ウーン」と声を上げてしまいました。この向上心は凄いと。

今更申し上げるまでもなく、さわらびの力は社員教育にあり、「剛・辛口の専務」「柔・優しさのマル子社長」にあると思います。日頃の教育・実践の積み重ねがさわらびの力となって、益々発展していくことでしょう!!

結びに、専務の還暦(?)祝いのラウンド、マル子社長の豪快なショット!に圧倒されました。社業の発展に欠かせないご夫妻の健康を御祈念申し上げ、拙い寄稿とさせていただきます。

### ありがとうございます



私が白幡さんとお逢いしたときは、白幡興業さんの専務さんでした。

その後独立なされて(株)千辰地所の社長になられた訳ですが、何とバランス感覚の素晴らしい方なのだろうかと強く感じました。その後、仕事を通じてお願いごとは、すぐ気持ちよく受けていただき、かえってさわらびが力を頂いておりました。

又、今後ともよろしく御指導下さい。

代表取締役 上條 マル子

### 学び その9

「人のもつ素晴らしさに  
気付く人は  
より素晴らしさを  
もつ人だ」







